

我が国の住生活をめぐる状況等について (住まいに関する意識等に関する調査について)

調査の概要

○調査の目的

新型コロナウイルス感染症の影響が、暮らしの様々な面に表れており、住まいに関する意識や意向にも影響が及んでいると考えられる。そこで、今後の住宅政策における新たな住まい方の検討にあたり、その動向を把握することを目的とする。

○調査方法 インターネット調査(国内居住のインターネットパネル登録モニター)

○回収数 3,000

○調査の期間 令和2年10月13日～令和2年10月16日

○回収数の割当

- ・ 回答者の年齢階級別(20歳以上、10歳毎)で同数を均等に割当(6区分×500人=3,000)
- ・ 地域別3区分(①:茨城県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県、②:愛知県・三重県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県、③:①及び②以外の道県)で世帯比例で割当

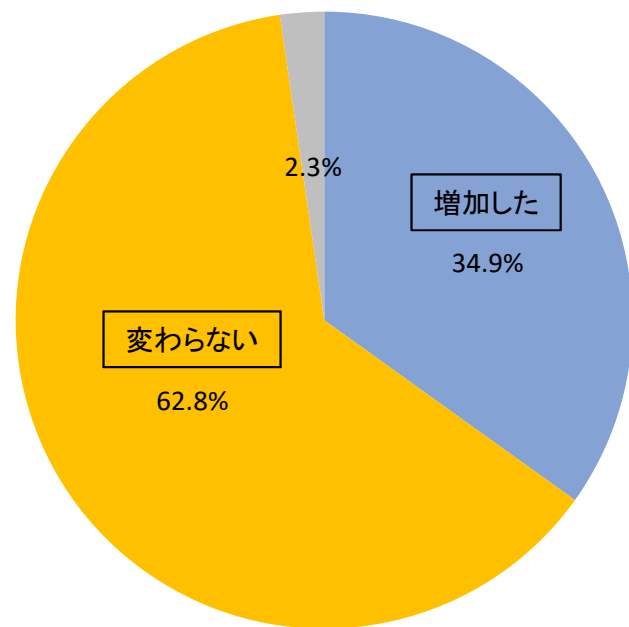
○回収数の内訳(家族構成)

合計	単身	夫婦	夫婦と子	左記以外
3,000	604	806	1,008	582

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の住まいへの影響について

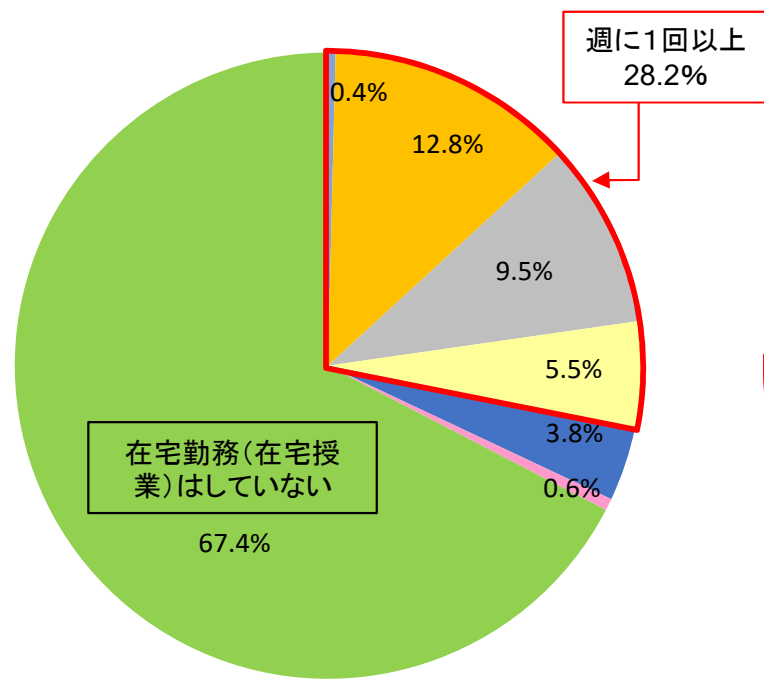
○在宅時間の増加について、34.9%が感染症拡大後に在宅時間が増加したと回答
 ○在宅勤務の頻度について、28.2%が週に1回以上実施していると回答
 ○在宅勤務の環境について、75.6%が「満足」または「まあ満足」と回答

感染症拡大前後での在宅時間の変化



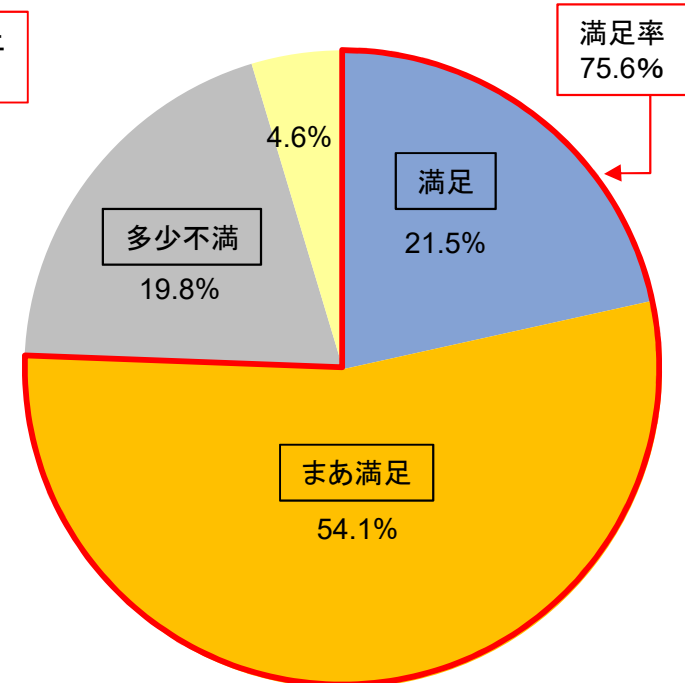
- 増加した (n=3,000)
- 変わらない
- 減少した

現在の在宅勤務の頻度



- 週6日以上、毎日 (n=2,274) ※無職等を除く
- 週に4、5回程度
- 週に2、3回程度
- 週に1回程度
- 月に2、3回程度
- その他
- 在宅勤務(在宅授業)はしていない

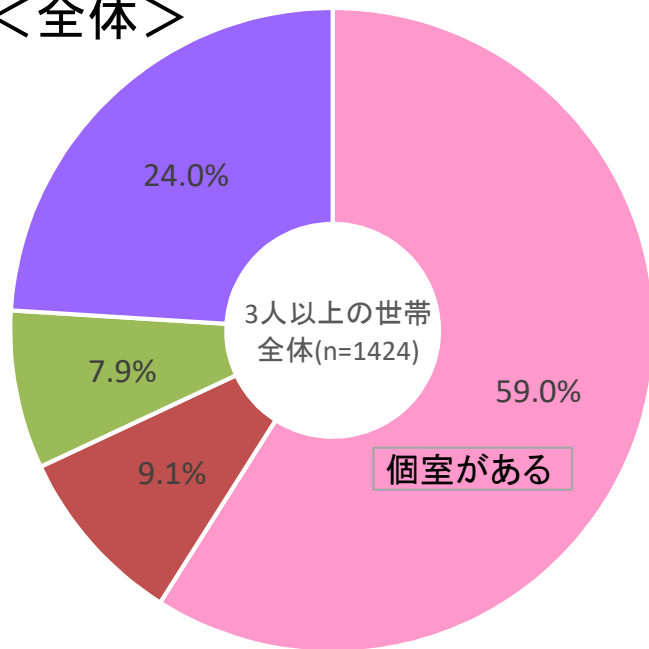
在宅勤務の環境の評価



- 満足 (n=799) ※在宅勤務を行っている者
- まあ満足
- 多少不満
- 非常に不満

在宅勤務の環境について(3人以上世帯を対象)

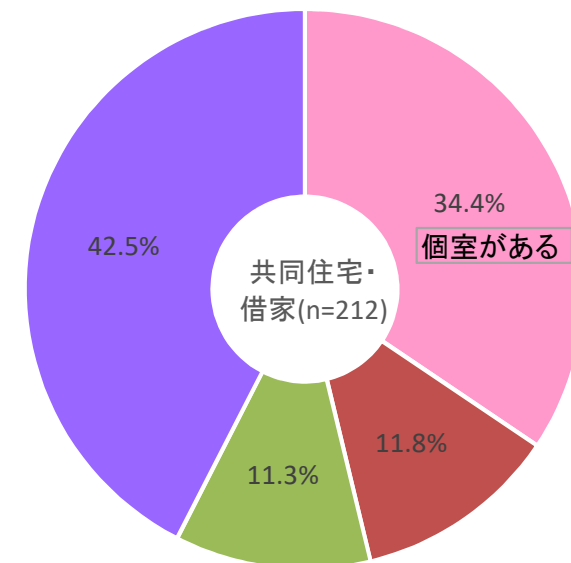
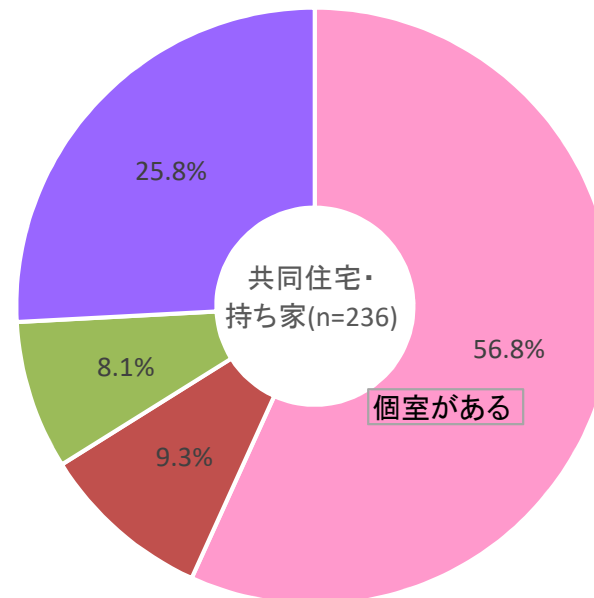
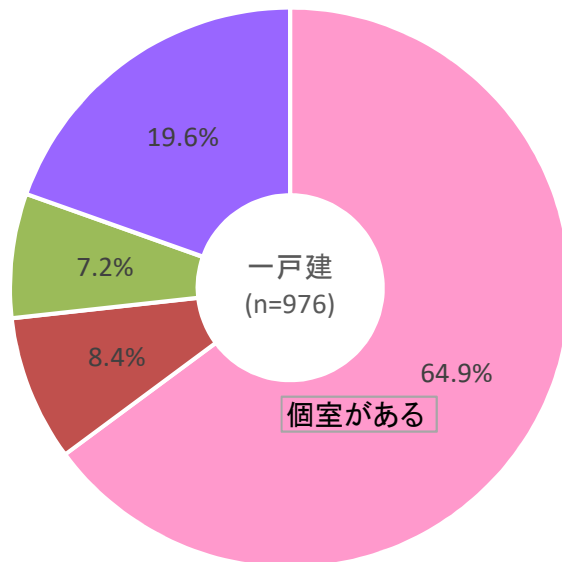
<全体>



○一戸建では約65%、共同住宅の持ち家では約55%の世帯が在宅勤務に専念できる個室があると回答し、それぞれ約2割が個室やスペース等がないと回答

○共同住宅の借家では、約35%の世帯が在宅勤務に専念できる個室があると回答し、4割以上の世帯が個室やスペース等がないと回答

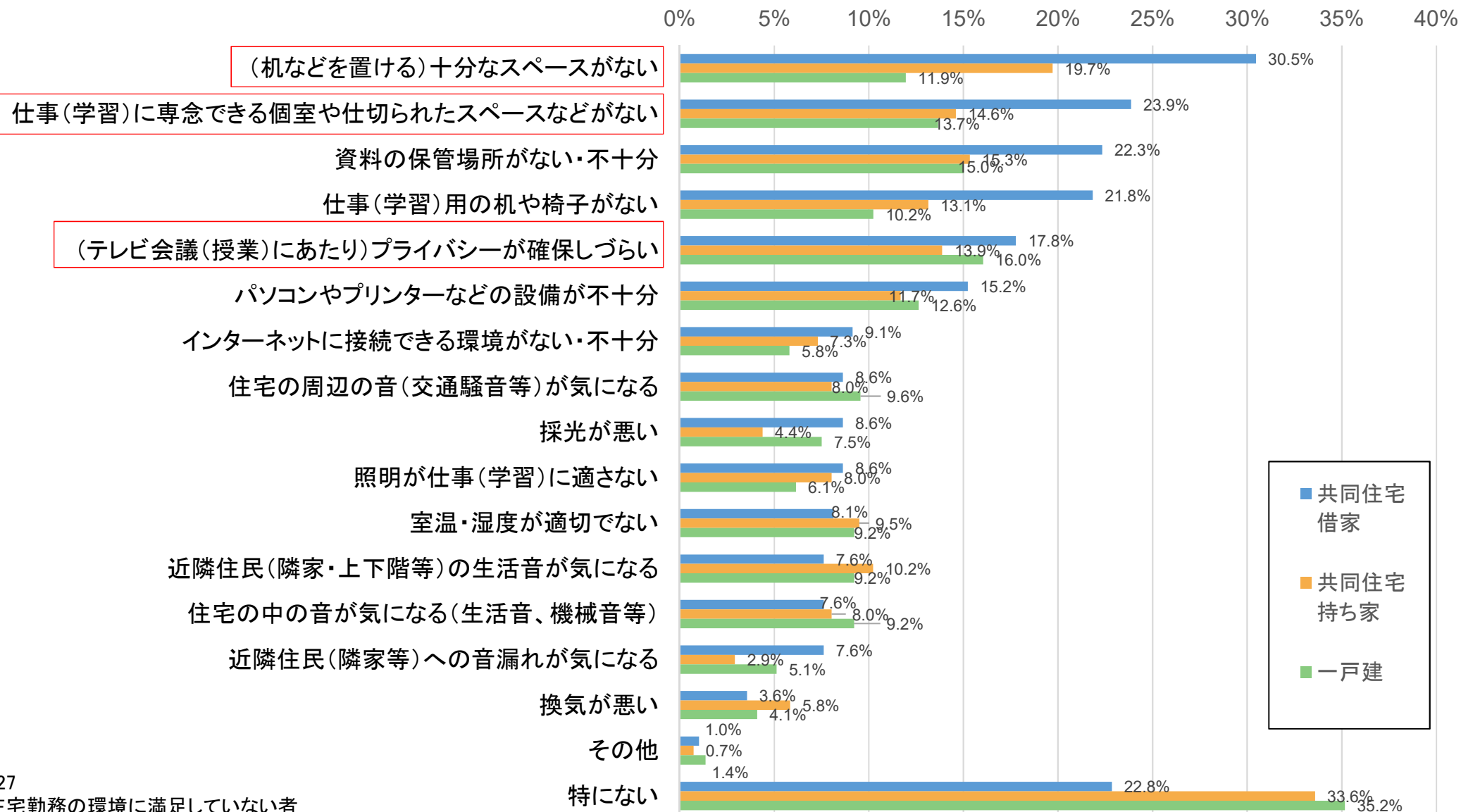
- 個室がある
- 仕切られたスペースがある
- 仕切られてはいないが専用のスペースがある
- 個室やスペースなどはない



※ 単身世帯や夫婦のみ世帯を除く3人以上世帯(n=1424)を対象

在宅勤務に際しての住宅に対する不満点について

○共同住宅では十分なスペースがないことに対する不満が最も高く、借家では約3割となっている。
 ○一戸建ではプライバシーの確保に対する不満が最も高くなっている。



n=627

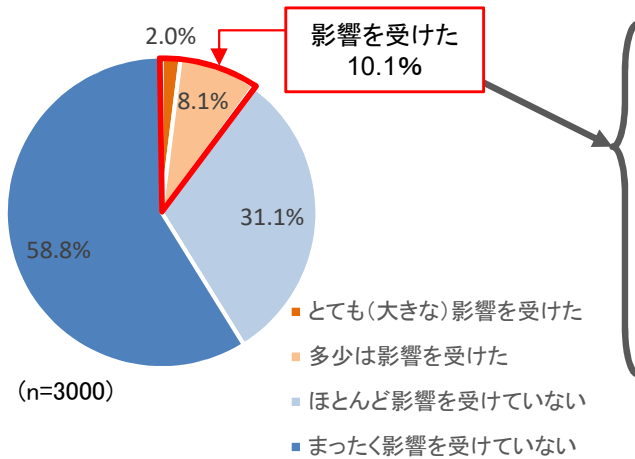
※在宅勤務の環境に満足していない者

2. 住み替え意向について

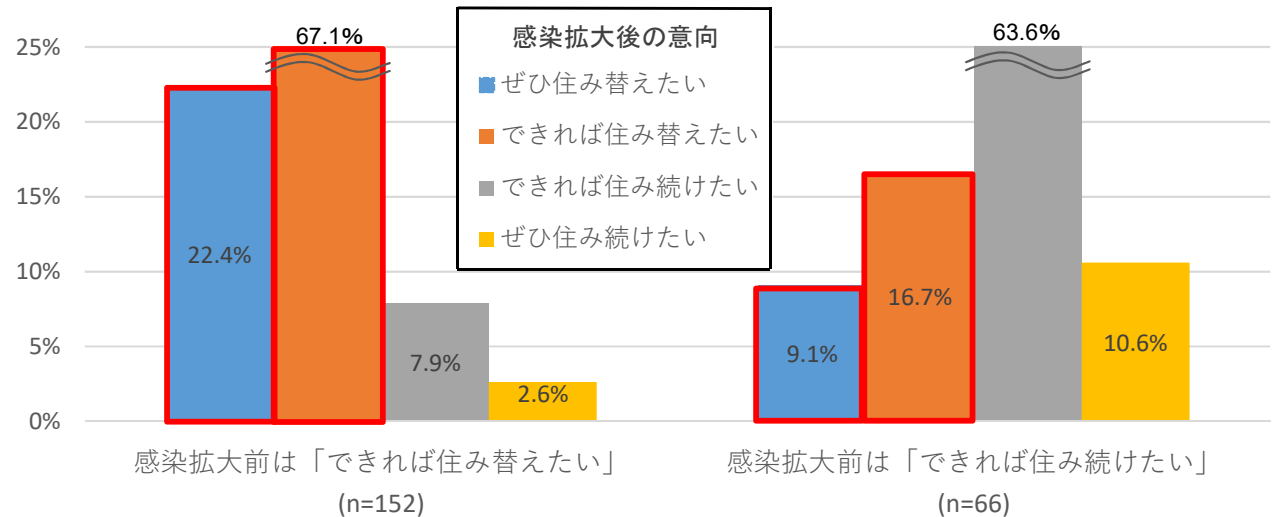
住み替え意向に対するコロナの影響について

- 約1割の人が「住み替え意向」や「購入する住宅の建て方に関する意向」にコロナの影響があったと回答
- 影響があった人は、住み替え意向が強まり、共同住宅から一戸建へと選好が変化する傾向がみられる

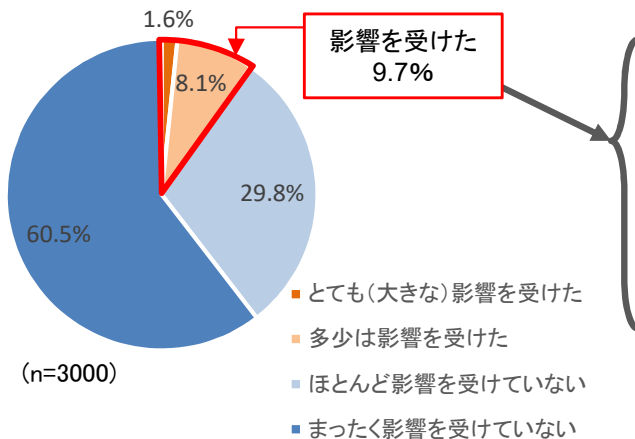
今後の住み替え意向について
(コロナによる影響の有無)



今後の住み替え意向について (影響を受けた世帯)



どのような住宅を検討するかの意向について
(コロナによる影響の有無)



住宅を購入して住み替えるとしたら、どのような住宅を検討するか

(希望する住宅)	感染拡大前	感染拡大後
新築・一戸建	24.7%	33.3%
既存・一戸建	9.7%	7.5%
新築・共同	44.1%	36.6%
既存・共同	21.5%	22.6%

現住宅が「共同住宅・賃貸」(n=93)

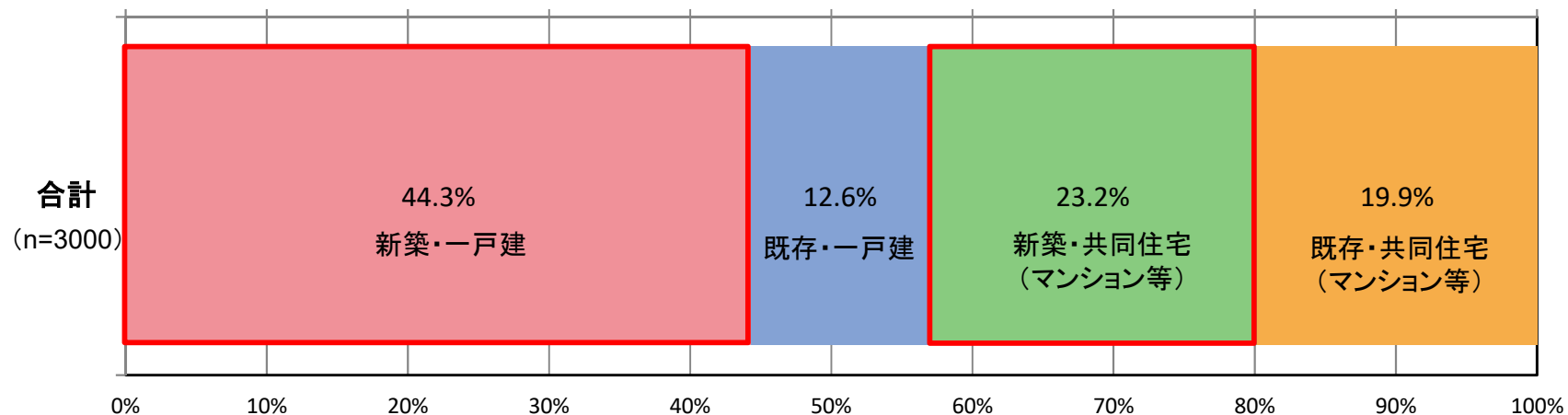
(希望する住宅)	感染拡大前	感染拡大後
新築・一戸建	20.5%	25.0%
既存・一戸建	6.8%	13.6%
新築・共同	50.0%	43.2%
既存・共同	22.7%	18.2%

現住宅が「共同住宅・持ち家」(n=44)

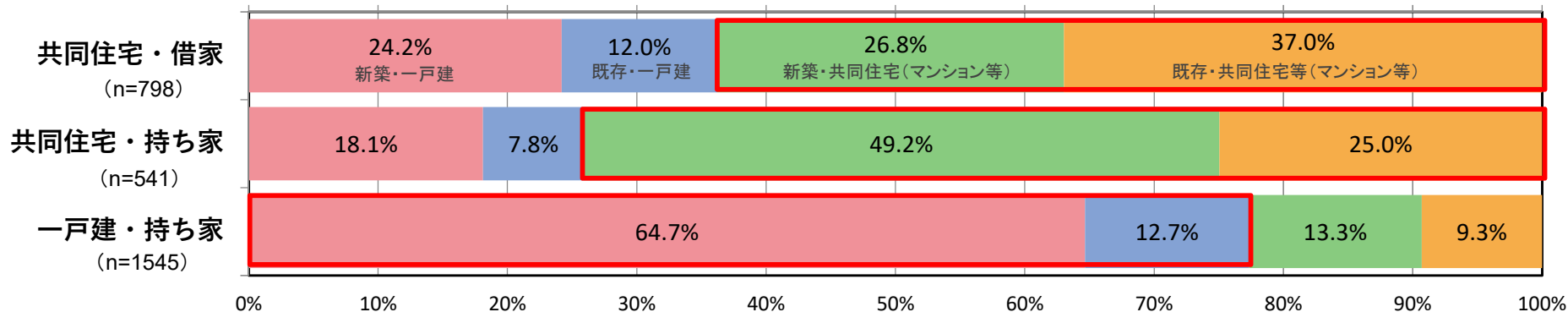
住み替えを希望する住宅のタイプについて

- 住宅を購入して住み替える際にどのような住宅を検討するかを聞いたところ、約3分の2の人が「新築」を検討すると回答、既存・一戸建を検討すると回答した人は12.6%にとどまった
- また、現住宅の建て方別に見ると、現在住んでいる住宅と同じタイプの住宅を希望する傾向があり、特に一戸建・持ち家は、新築・一戸建てへの意向の強さが、他のタイプに比べて、強い傾向がみられる

住み替えを希望する住宅のタイプについて

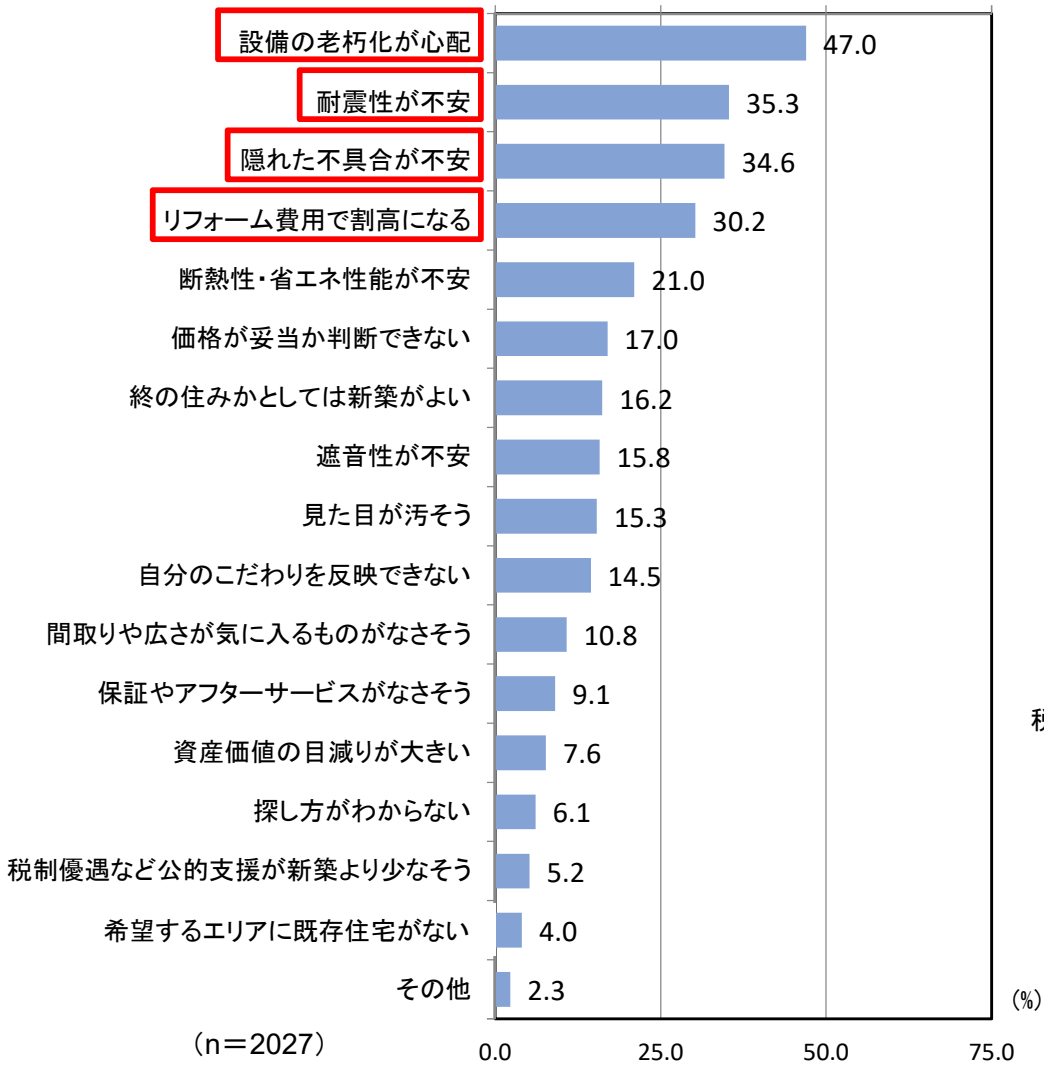


(現住宅の建て方別)

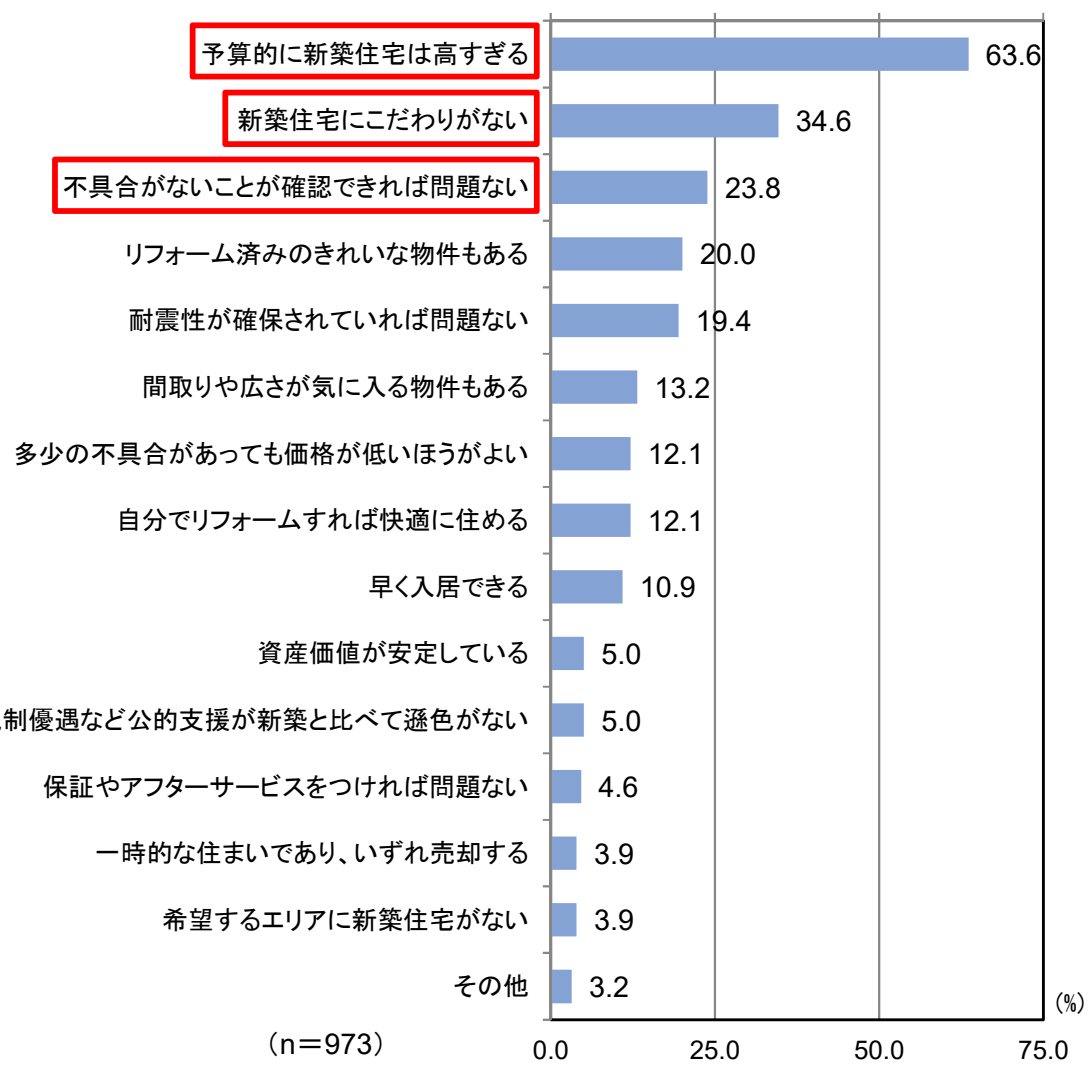


- 新築住宅への住み替えを希望する人が既存住宅を希望しない理由としては「設備の老朽化」「耐震性」「隠れた不具合」等への不安のほか、「リフォーム費用で割高になる」ことが挙げられている
- 一方で、既存住宅を希望する人が新築住宅を希望しない理由としては「予算的に高い」が最も多い

(新築住宅への住み替えを希望する人に質問)
既存住宅への住み替えを希望しない理由



(既存住宅への住み替えを希望する人に質問)
新築住宅への住み替えを希望しない理由



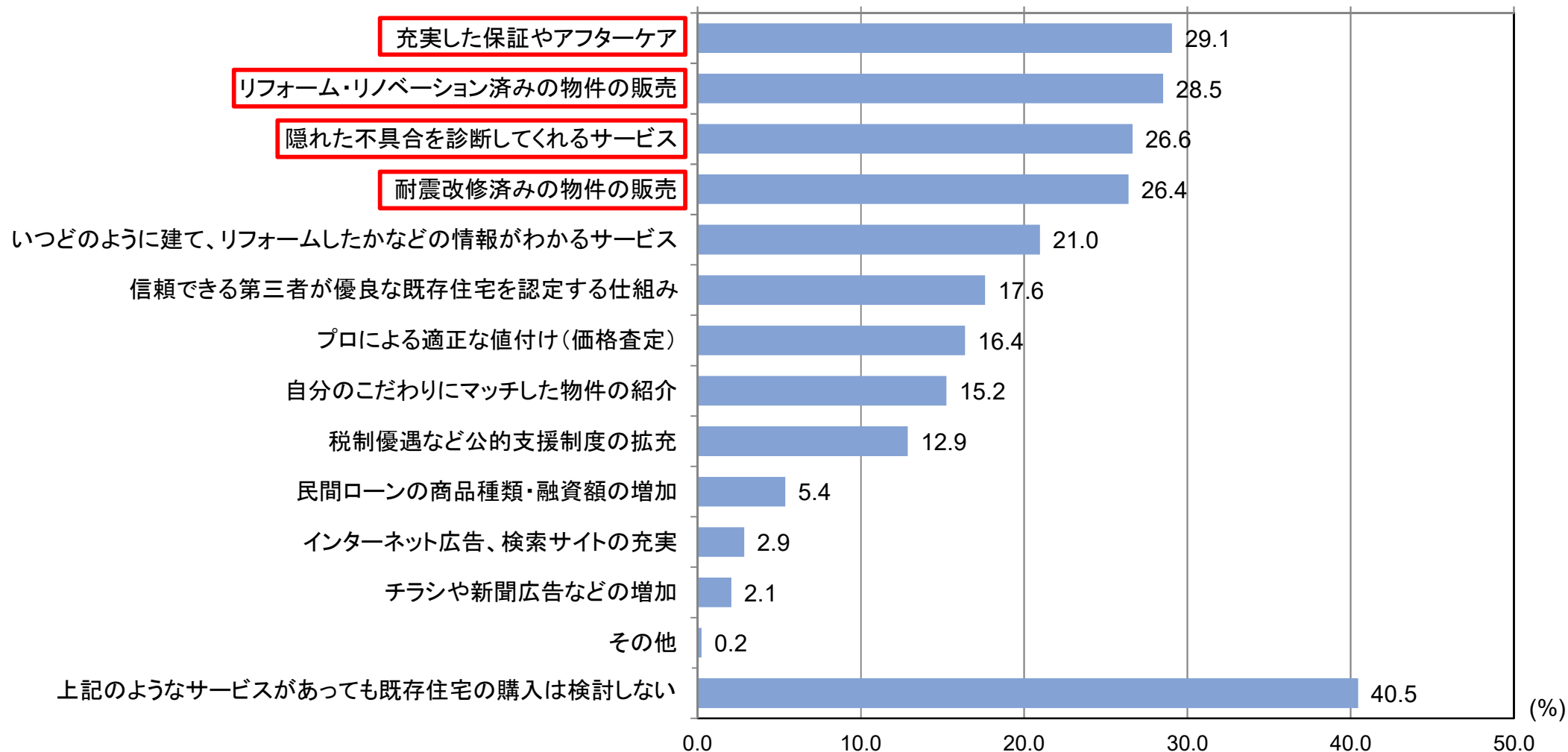
既存住宅の購入を検討するためのサービスについて

○ 新築住宅を希望する人に、どのようなサービスがあれば既存住宅の購入を検討するか聞いたところ、既存住宅の質に対する不安を払拭するためのサービスへのニーズが高い

(新築住宅への住み替えを希望する人に質問)

どのようなサービスがあれば既存住宅の購入を検討するか(複数回答)

(n=2027)

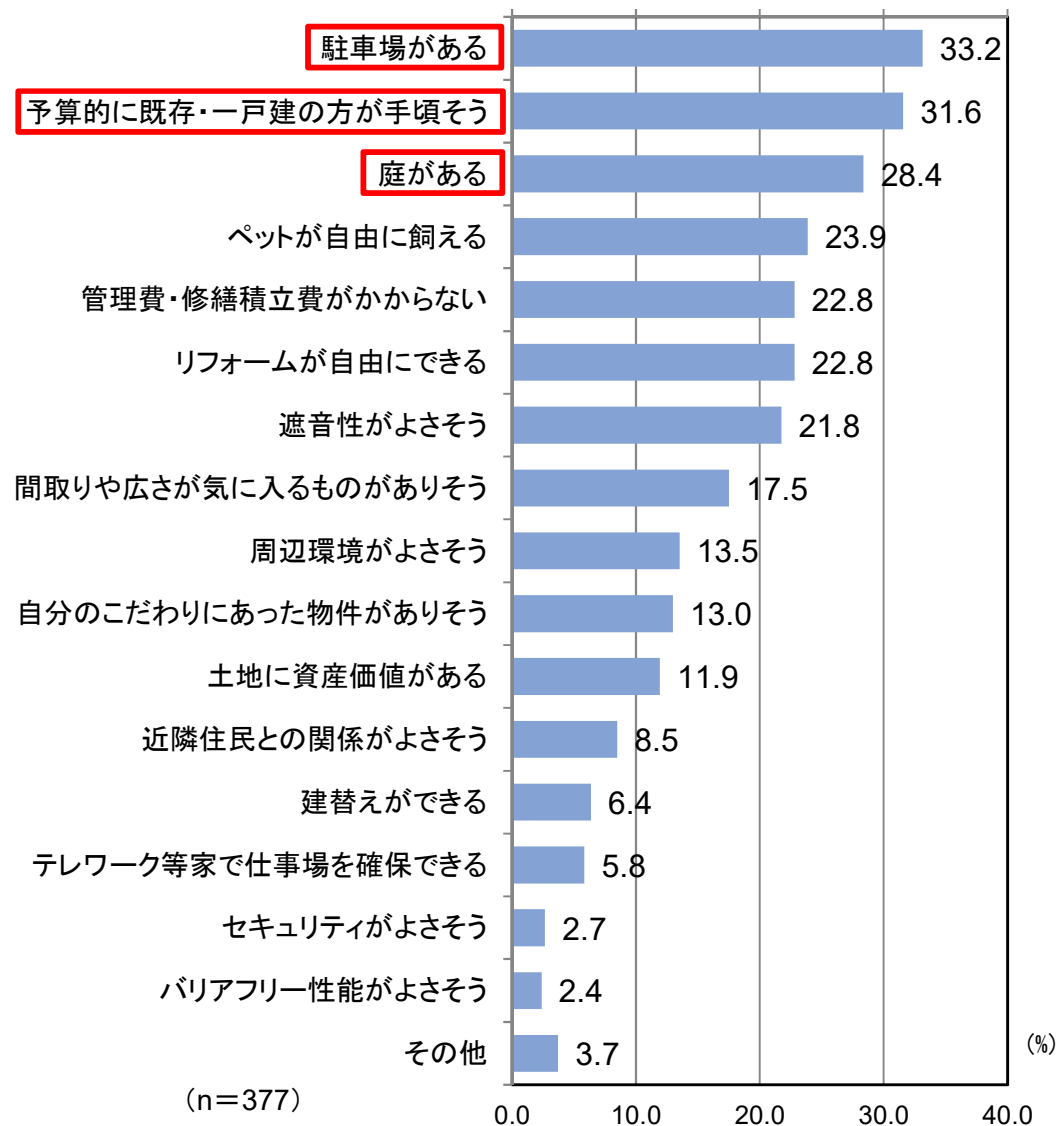


建て方別の既存住宅への住み替え希望について

○ 一戸建の既存住宅を希望する理由では「駐車場がある」「予算的に手頃」「庭がある」が上位に、共同建の既存住宅を希望する理由では「利便性」「管理修繕を任せられる」「セキュリティ」が上位であった

(既存住宅のうち「一戸建」への住み替えを希望する人に質問)

既存住宅のうち「**一戸建**」への住み替えを希望する理由



(既存住宅のうち「共同住宅」への住み替えを希望する人に質問)

既存住宅のうち「**共同住宅**」への住み替えを希望する理由

